

# 痔瘻がん（じろうがん）

## 痔瘻がんについて

痔瘻がんは、直腸や肛門周囲にできる痔瘻が長期間にわたって放置された結果、がん化する疾患で肛門腫瘍の7-8%を占めると報告されています。

### 痔瘻（じろう）とは

痔瘻は、肛門周囲にできる異常なトンネル状の感染病変です。肛門の腺が感染して膿がたまり（肛門周囲膿瘍）、それが皮膚や周囲の組織に広がってトンネル状の構造（瘻孔）を形成します。慢性的な炎症や感染が続くことで痔瘻が形成されます。

### 痔瘻がんの原因

治癒しない痔瘻を長期間（10年以上）放置することで、慢性炎症による細胞の遺伝子変化をきたし、痔瘻がんが発生するリスクが高まります。痔瘻がん発生までの罹患期間の平均は18年と報告されています。

## 症状について

痔瘻がんの症状は通常の痔瘻と類似しているため、早期発見が難しい場合がありますが、以下の特徴があります。

1. 痔瘻の長期間持続
2. 排便時や座った際の痛み
3. 瘻孔からの排膿増加や血性分泌物
4. しこりの形成
5. 周囲皮膚の変色や潰瘍

## 診断について

痔瘻がんの診断には以下の手順を用います。

- 問診、肛門診察：痔瘻の病歴や臨床症状を確認します。また直腸指診にて瘻孔周囲のしこりや異常な組織を確認します。
- 画像診断：CT や MRI で瘻孔や腫瘍の広がりを評価します。ただし CT や MRI は痔瘻がんの早期発見には有用でないとの報告もあります。
- 生検：痔瘻がんを疑ったら、硬結部、瘻孔、直腸肛門狭窄部などから積極的に生検組織診を繰り返し行うことが診断に重要です。分泌物の細胞診が有効なこともあります。

## 治療について

- 手術療法：痔瘻がんは大多数が腺がんであることから外科治療が原則で、術式は直腸切断術（肛門を含めた直腸を切除する方法）または、周囲臓器浸潤があれば骨盤内臓全摘術（直腸、膀胱、子宮を切除する方法）を行います。これらの手術には肛門切除が必要であり人工肛門造設を行います。
- 化学療法、放射線療法：根治切除症例には再発予防のための術後補助化学療法を、進行再発症例には化学療法や放射線療法を行うことがあります。

### 予後

根治切除後5年生存率は stage 0/I で 90%、stage II で 67%、stage III で 29%と報告されており、早期発見と完全な局所の切除が重要です。

### 予防

慢性的な痔瘻を放置しないことが最も重要であり、痔瘻が発生した場合は早期に適切な治療を受けることが推奨されます。また、長期間続く肛門周囲の症状を軽視せず、専門医の診察を受けることが推奨されます。

## 執筆者

- 氏名： 梅田 晋一
- 所属医療機関： 名古屋大学医学部附属病院
- 診療科： 消化器・腫瘍外科（消化管）